

第543回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和5年10月4日(水) 午前11:00より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 7名
○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)
委員長 林 新一郎
副委員長 井口 弥寿彦
委員 浅井 隆彦
委員 加藤 恵美子
委員 笹本 正治
委員 武重 正史
委員 中山 潔
○欠席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)
委員 南澤 光弥
○放送事業者側出席者名
外山 衆司 (代表取締役社長)
船木 正也 (常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当)
久保 善一 (取締役 報道制作・企画事業担当)
西條 彰浩 (報道制作局長)
早川 英治 (編成業務局長)
浅輪 清 (編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長)
北澤 輝久 (編成業務局編成部長 兼 視聴者室長)
宮本 利之 (報道制作局制作部長)
内山 純一 (報道制作局制作部副部長)
4. 議題
(1) 番組審議

『 FNSソフト工場 オモシロ未来体験 モシモの21世紀 』

令和5年7月21日（金）夜7時00分～ 放送

(2) 「長野放送 番組基準」の一部変更について（諮問）

(3) 視聴者対応報告（令和5年9月分）

番組種別報告（令和5年4月～9月分）

(4) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・非常に面白い着想のもとに良い番組を作った。
- ・たいへん楽しく面白くバラエティ番組として視聴した。
- ・かまいたちやみちょぱさんはテレビタレントとしてもとても優秀で、様々な題材に対して的確にコメント、機転の利く反応に思わず声をあげて笑うような感じだった。
- ・見方を変えていくと、私たちの日常生活の中に何が問題であるかということまでを考えさせる非常に良い番組だった。
- ・未来予想の点検番組の中でも、外れた予想がもしも実現していたら今どう受け止めるかという着眼点は新鮮だった。
- ・過去にいろんな漫画を見て、こういう未来があったらいいなと思っていたことが今どうなっているのだろうということで、我々世代には面白かった。
- ・「こち亀」に描かれていた未来というのは、驚くべき程今を予見しているので、秋元治さんという方はすごい方だと改めて思った。
- ・子ども世代にも昔の人がどんなことを考えていたのか、どんな生活をしていてそこからどんな未来を描いていたのかというのを知る機会としても有効だったので

はないか。

- ・世代ごとに楽しめるバラエティだったということで面白かった。
- ・サンヨー食品さんのように過去の未来予想に対して商品が実現したのをもっと集めてどんな事例があるのかを集めると、より面白かったのではないか。
- ・昔の漫画がこういう風に今を予想しているというのは、子ども世代にとってもこの先の未来にも興味がわく、期待が持てると思われるのではないか。
- ・勉強していると、こういう未来を想像したり予想したりできると感じ取れたのではないか。単に想像だけで本当の未来を当てることはできないのではないかということも伝えきれたのではないか。
- ・最後の最後までブラッシュアップして繰り返し完成に向けて頑張ったというのを見て取れた。
- ・50年後はどんなことを予想するかとか、そういうことを面白おかしく伝えてもらうとか、未来を予想するのが楽しくなるような番組に仕上がったのではないかと思う。
- ・過去に想像して実現したものの方が興味深くて、外れたものを検証するということに興味はわかなかった。
- ・「日本の未来が明るかった昭和時代」ということは、今は明るくないということが前提なのか、どう考えるのか。
- ・未来の今は暗くて暗黒の令和かい、という感じに捉われないようにしたい。誤解を招かないような表現にする注意が必要ではないかと思った。
- ・病気がなくなる脳内チップみたいな話が出ていました。脳内チップと私たちの体はどう考えていいのか。
- ・いろんな機械が発展して私たちが楽になった部分の時間はどこに費やされて、そ

れが私たちの生活の在り方とどのようにリンクしているかが見えない。

- ・バラエティ番組の中でも、ちょっと教養の色彩を濃くしたかったのか、出演者の顔ぶれに比べて地味なオープニングじゃないかというのが最初の戸惑いだった。
- ・セットがシンプルで落ち着き過ぎていたというか、もっと派手で賑やかな方が出演者の顔ぶれに合っていたように思った。
- ・番組が進むにつれて登場してくる出演者が次第に認知度の低い芸人になって行ったというのも、バラエティ本来のパワーとしてはどうなのかなと思った。
- ・プレゼンターに登場してきた芸人さんたちにボケ合っているかまいたちの2人をさばっていく力量がないためにパワーダウンしていった印象を持った。
- ・げんこつマシンもサンドイッチ寿司も3倍速2画面も少しドタバタ感があり、芸人さんが体を張った感じの展開でいずれもタレントの反応に依存した感じが否めない。
- ・これからのバラエティを模索していく番組なら新しい着眼点を十二分に生かせるように、やや大人し目のサンドイッチ寿司や倍速視聴よりも、もっとあり得ない大胆な外れ予想を取り上げて良かったのではないかと感じた。
- ・固くなってしまう物をバラエティのお笑いで全体を包むという趣旨は分かるが、ちょっとお笑いの方に振り過ぎかなという感じがした。
- ・未来予測にはハードばかりではなくて必ずソフトもあり、社会的な価値観の変化を予測する、あるいはモラルの変化を予測するなどのソフト面の予測も非常に面白い楽しい物があると思う。

(2) 「長野放送 番組基準」の一部変更について（諮問）

事務局より「長野放送 番組基準」の一部変更について諮問した。

(3) 視聴者対応報告（令和5年9月分）・番組種別報告（令和5年4月～9月分）

資料に基づき、令和5年9月分の視聴者対応について、及び令和5年4月から9月分の番組種別について編成部より報告を行った。

(4) その他

配布資料

- ・第542回番組審議会（令和5年9月）議事録
- ・「長野放送 番組基準」の一部変更に関するご説明資料
- ・視聴者対応報告資料（令和5年9月分）
- ・番組種別報告資料（令和5年4月～9月分）
- ・モニターレポート
- ・民間放送（第2219号）
- ・タイムテーブル（令和5年10月～12月分）
- ・第544回番組審議会資料、及びDVD

以上